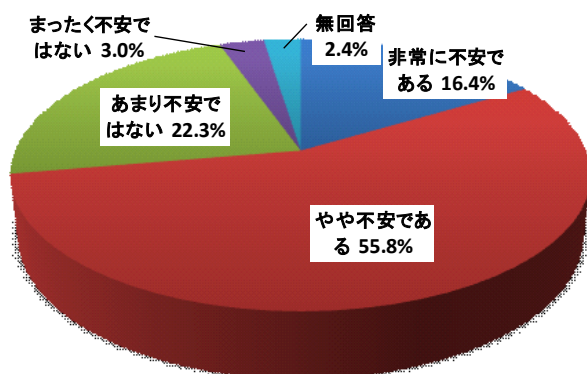


5 調査結果

(1) 食品に対する不安の有無とその要因

問1. 食品の安全性に不安を感じていますか？（1つ選択）

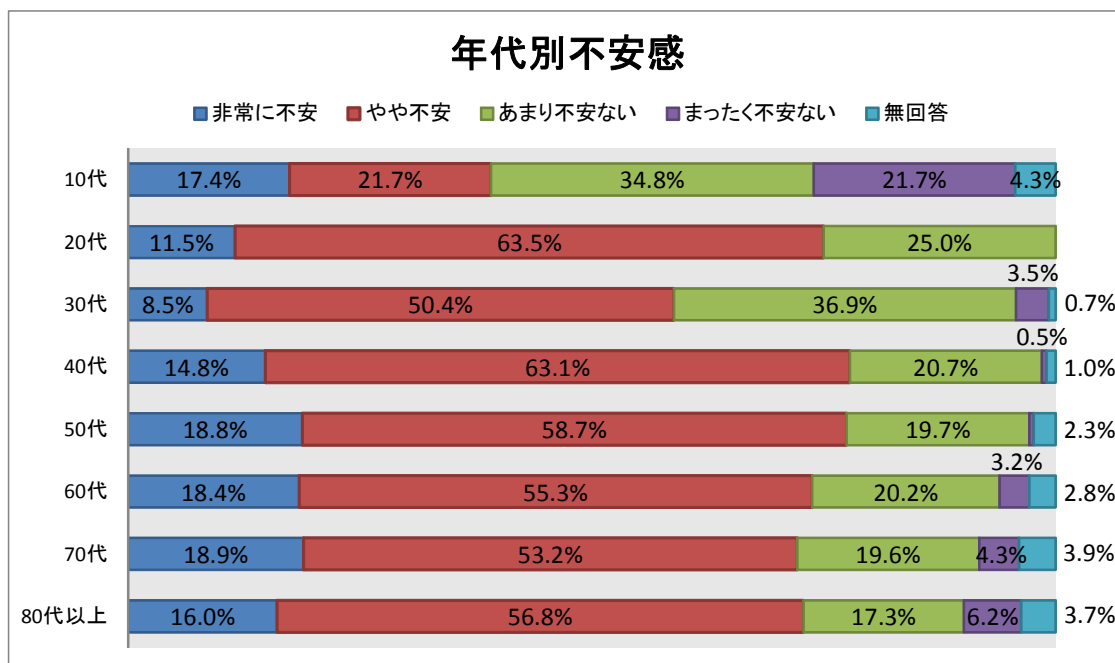


①非常に不安である	16.4%
②やや不安である	55.8%
③あまり不安ではない	22.3%
④まったく不安ではない	3.0%
⑤無回答	2.4%

(N = 1,277)

「非常に不安である」と答えた人が 16.4%、「やや不安である」と答えた人が 55.8%となり、2つを合わせると 72.2%の人が「不安である」という結果になりました。

なお、前回調査の「非常に不安である」と「やや不安である」を合わせた割合 74.7%と比べると、2.5ポイント減少しています。



(N = 1,275)

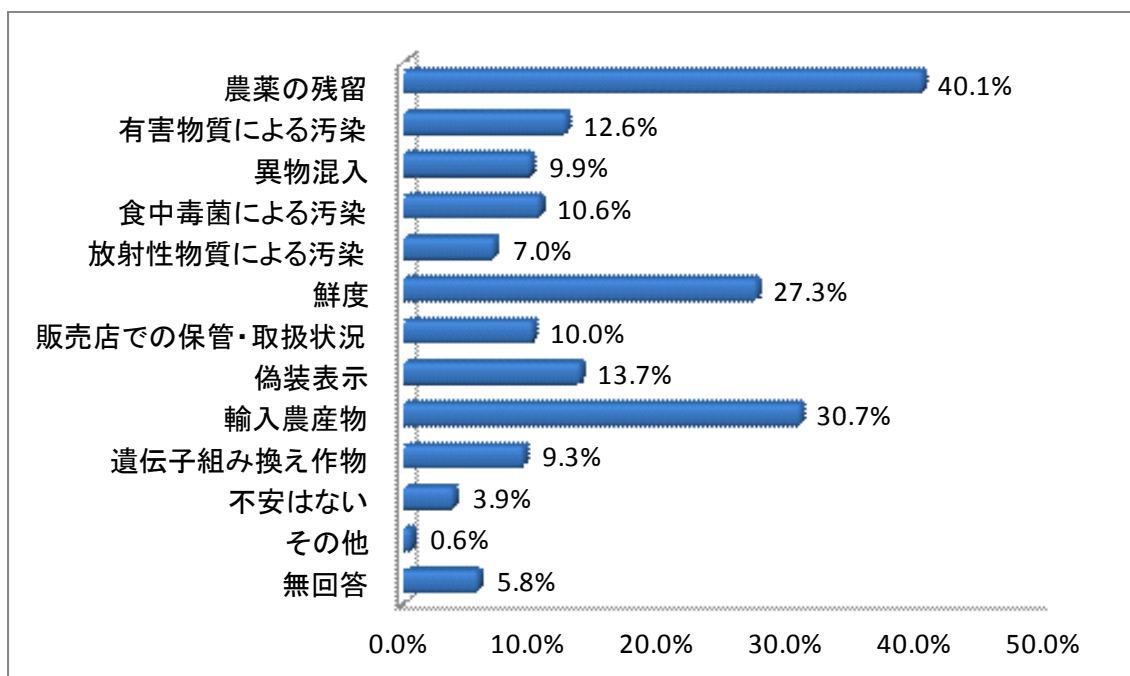
また、「不安である」と答えた人の割合を年代別にみたら、

10代：39.1% 20代：75.0% 30代：58.9% 40代：77.9%

50代：77.5% 60代：73.7% 70代：72.1% 80代以上：72.8%

となり、40代以上では7割以上の方が食の安全性に対して不安感を持っている結果となりました。

問2. 次の(1)～(5)のそれぞれの食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？
 (1) 農産物(生鮮野菜・果物・米など)(2つ以内選択)



(N = 1,277)

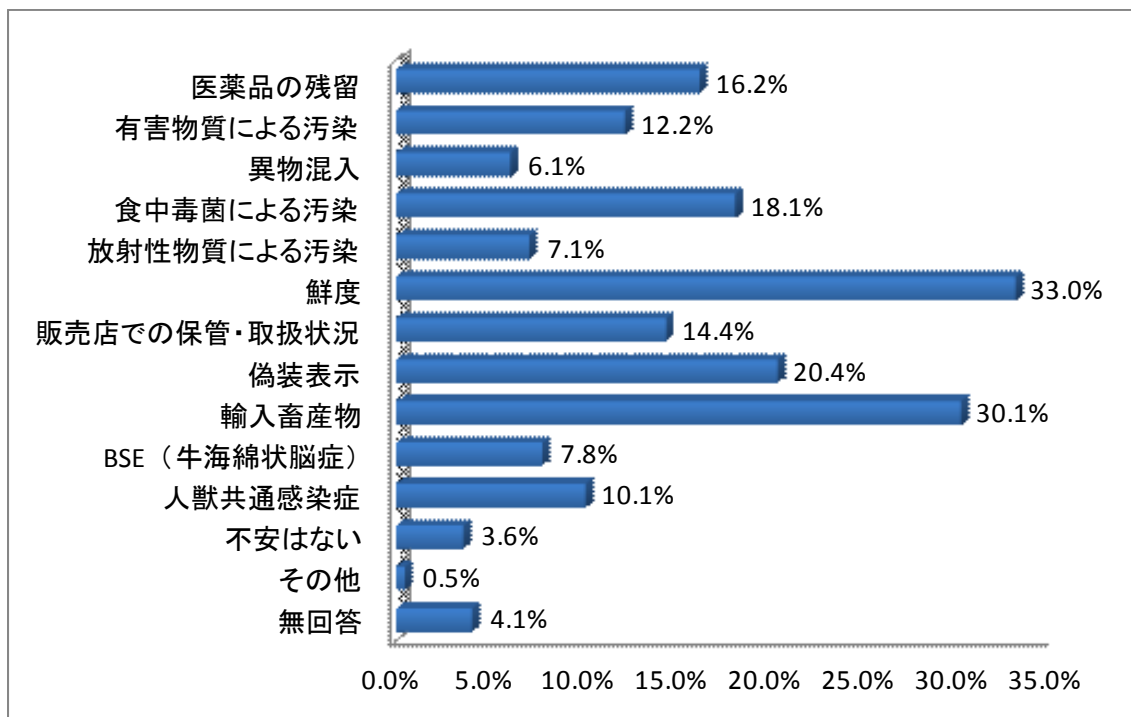
割合が高いものから順に、「農薬の残留」40.1%、「輸入農産物」30.7%、「鮮度」27.3%となっており、このうち「農薬の残留」と「輸入農産物」は前回の調査結果と同様に、高い割合となりました。

今回の特徴としては、前回の調査で割合が高かった「偽装表示」が大きく減少(H27: 27.0%→ H30: 13.7%)した一方で、今回新たに追加した項目である「鮮度」が3番目に入る結果となりました。

○項目「その他」の具体的な記述内容(その他意見等含む)

- 無農薬は安心とよくいいますが、それがいいという風潮(20代)
- 野菜に虫が付いていないか。(40代)
- 家庭菜園のをいただいておりますので心配ございません。(80代)
- 海外の商品全てが不安という訳ではありません。日本の物でも危険と思われるものがあると思います。作物の作り方等がきちんとしているかの確認ができないことは不安がない訳ではありません。日本でも色々と問題になっていますので同じですが。(30代)
- 賞味期限(70代)
- 野菜、果物を新鮮に見せようとして不自然な外観、ワックスをかけていると聞いたことがある。(60代)

問2. 次の(1)～(5)のそれぞれの食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？
(2) 畜産物(肉類・卵など)(2つ以内選択)



(N = 1,277)

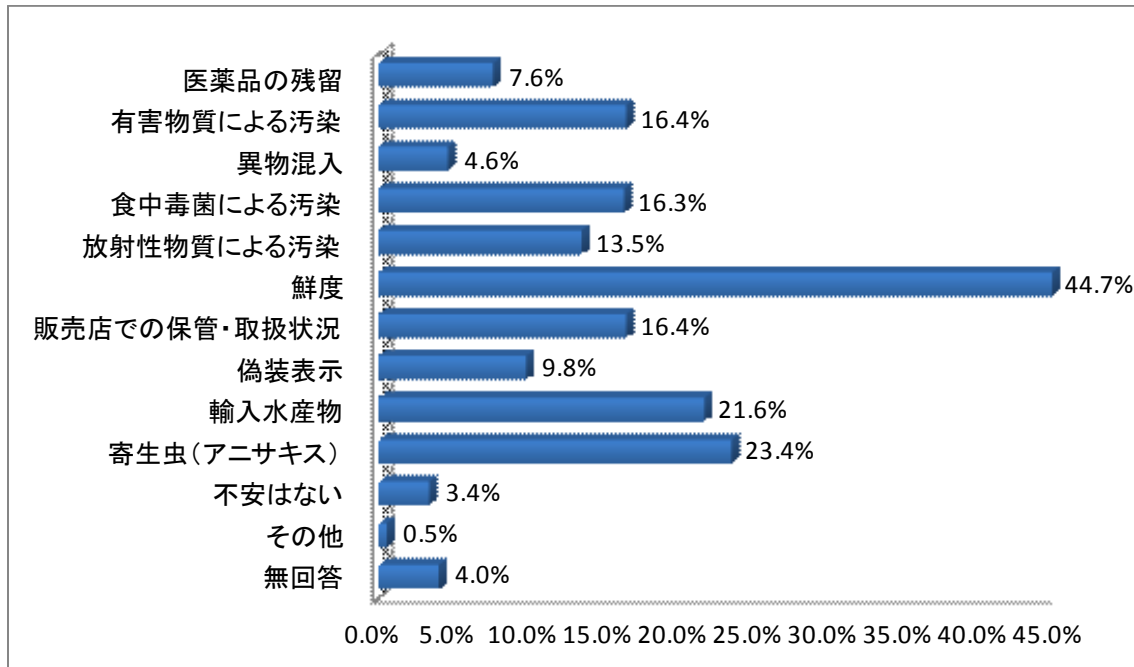
割合が高いものから順に、「鮮度」33.0%、「輸入畜産物」30.1%、「偽装表示」20.4%となっており、今回新たに追加した項目である「鮮度」が最も高い割合となりました。

今回の特徴としては、前回の調査で割合が高かった「偽装表示」(H27: 41.1%→ H30: 20.4%)、「人獣共通感染症」(H27: 27.5%→ H30: 10.1%)などの割合が大きく減少した一方で、「販売店での保管・取扱状況」(H27: 11.7%→ H30: 14.4%)の割合が増加しました。

○項目「その他」の具体的な記述内容(その他意見等含む)

- 鶏卵の直売所の安全性。サルモネラ菌等、消毒していないのでは。(20代)
- 成長剤を投薬された肉類(30代)
- 人工的にやり過ぎること。(40代)
- 中国産(70代)

問2. 次の(1)～(5)のそれぞれの食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？
(3) 水産物(鮮魚介類など)(2つ以内選択)



(N = 1,277)

割合が高いものから順に、「鮮度」44.7%、「寄生虫(アニサキス)」23.4%、「輸入水産物」21.6%となっており、前回の調査結果と同様に「鮮度」、「輸入水産物」が高い割合となりました。

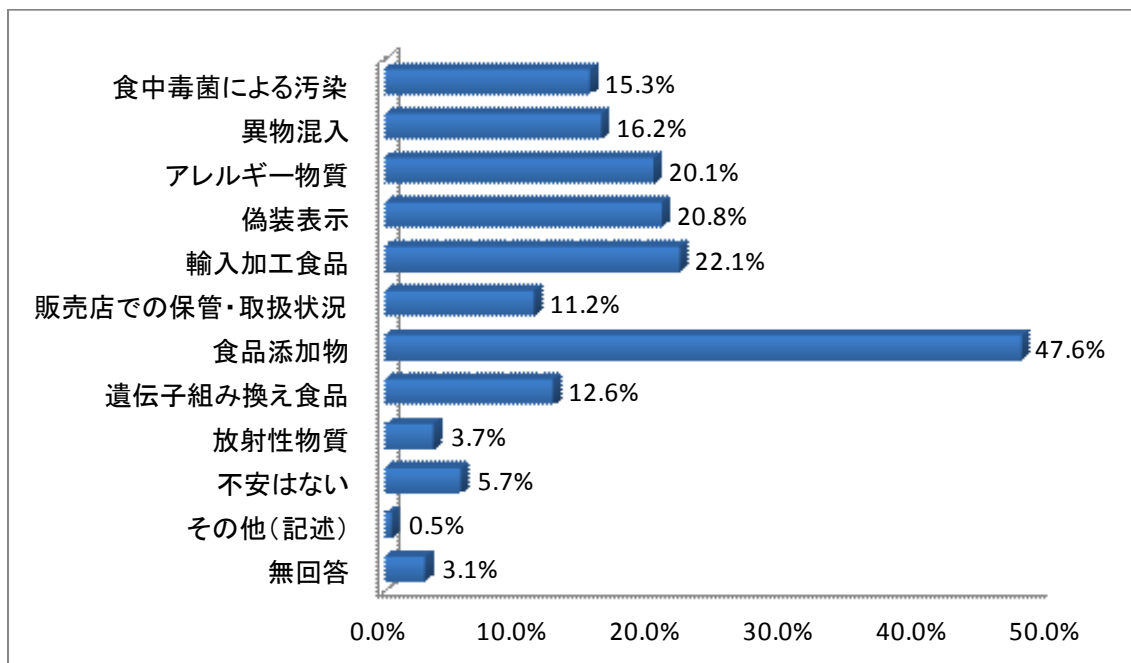
今回の特徴としては、前回の調査結果で2位であった「偽装表示」(H27: 28.6%→ H30: 9.8%)の割合が大きく減少する一方、「寄生虫(アニサキス)」(H27: 15.7%→ H30: 23.4%)の割合が増加しました。

○項目「その他」の具体的な記述内容(その他意見等含む)

- マイクロビーズ等の体内に取り込まれたプラスチック類(70代)
- 鮮度を確かめて購入するので不安はない。(80代)
- 気にしてない。(40代)

問2. 次の(1)～(5)のそれぞれの食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？

(4) 上記以外の加工食品(菓子・清涼飲料・漬物・麺類・ハム・乳製品・水産加工品など)(2つ以内選択)



(N = 1,277)

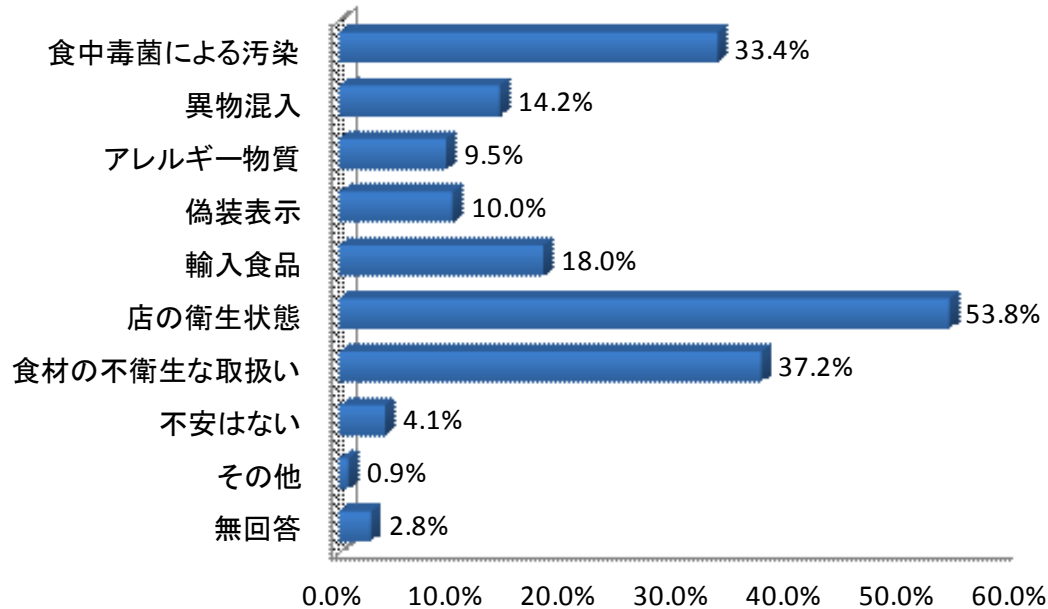
割合が高いものから順に、「食品添加物」47.6%、「輸入加工食品」22.1%、「偽装表示」20.8%となりましたが、なかでも「食品添加物」は前回の調査結果と同様に他と比較して特に高い割合となりました。

今回の特徴としては、「偽装表示」(H27: 30.7%→ H30: 20.8%)の割合が大きく減少する一方、「アレルギー物質」(H27: 14.3%→ H30: 20.1%)、「食中毒菌による汚染」(H27: 10.3%→ H30: 15.3%)、「販売店での保管・取扱状況」(H27: 4.7%→ H30: 11.2%)などの割合が増加しました。

○項目「その他」の具体的な記述内容(その他意見等含む)

- ハムの安全性(20代男性)
- ハムに使用される亜硝酸塩が化学反応で発がん性物質が発生する。無添加の品物がどこでも手に入りにくい。(70代)
- 賞味期限(60代)
- 原材料(50代)

問2. 次の(1)～(5)のそれぞれの食品を購入する際、次にあげる項目で特に不安を感じているものはどれですか？
(5) 飲食店等の外食で提供される食品(2つ以内選択)



(N = 1,277)

割合が高いものから順に、「店の衛生状態」53.8%、「食材の不衛生な取扱い」37.2%、「食中毒菌による汚染」33.4%となっており、前回の調査結果と同様にこの3項目が他と比較して特に高い割合となりました。

○項目「その他」の具体的な記述内容(その他意見等含む)

- アルミホイルの使用(60代)
- 外食は塩分が高く味も濃すぎるので気を付けている。(70代)
- 外食は食材が加工された食品になっているので輸入の食品表示がなく(アレルギーがあるので)不安です(弁当も)。(70代)
- スタッフの食品表示に関する知識の無さ。(50代)
- 店内のトイレ手入れ、清掃記録などの有無(70代)
- 何が入っているのか分からないので怖い。(40代)
- 肉類が心配(いのししは恐ろしいです)(80代)
- 豚肉を使った料理はラクトパミンが心配。国内の使用は禁止されているが輸入はOKなので、輸入された豚を食材にした外食での不安は残る。(70代)